様式５

[第○部課程第○期]

**検討事項ペーパー**（公民連携）

　　班　　　　グループ　　学籍番号　 　　自治体名　　　　　　　氏名

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1) 岩手県一関市及び大阪府枚方市において、自治体が抱えている課題について民間企業のアイデアを募集した手法の違いとそれぞれの手法の特徴について整理する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 大阪府枚方市 | 岩手県一関市 |
| 民間企業のアイデアを募集した手法 |  |  |
| 当該手法の特徴 |  |  |

(2)　岩手県一関市、大阪府枚方市及び長野県阿智村において、民間企業や地域の団体と連携して事業を行うに当たって工夫したと考えられる点を整理する。また、民間企業や地域の団体との連携による効果を整理する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 民間企業や地域の団体と連携して事業を行うに当たって工夫した点 | 民間企業や地域の団体との連携による効果 |
| 大阪府枚方市 |  |  |
| 岩手県一関市 |  |  |
| 長野県阿智村 |  |  |

 |
| (3)　所属自治体において、民間企業や地域の団体との協働により実施している事業を１つ挙げ、当該事業における公民連携実施するに当たって工夫した点やその効果を確認する。該当する事業がない場合には、民間企業や地域の団体との協働により実施しうる事業を１つ挙げ、想定される公民連携の効果を挙げること。【民間企業や地域の団体との協働により実施している事業】【公民連携実施するに当たって工夫した点やその効果】（該当する事業がない場合）【民間企業や地域の団体との協働により実施しうる事業】【想定される公民連携の効果】 |

［作成要領］

１　指定された事例の検討事項（項目）（テキストに記載）について、各事例につき３ページ以内で作成すること。

２　小グループ討議の際に、小グループ員に配付すること。

３　上記「班」「グループ」欄は、班編成判明後に記入する。